

項目	検討したい項目内容	担当者	検討した内容	結論とポイント
1	<p>要介護 2・女性・独居。主疾患は認知症。介護事業所が対応に苦慮しており、ケアマネジャーとして今後どうしたら良いかを検討したい。</p> <p>訪問介護事業所に多い時で 1 日 30 回程本人の携帯電話から電話がかかるが、出ても応答がない。仕事に支障が出ている。本人は携帯電話の使い方が分からない。携帯電話を触っていて訪問介護事業所に電話がつながっている状況。家の電話は、呼び出し音で不穏(過去にトラブルがあった事が要因)になるために使用していない。置いてあるがコードをつなげていない状況。最近妹が携帯電話を本人に持たせた。かかってくれば応答はできる。</p>	〇〇 〇〇	<p><アドバイス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーが本人・妹の電話についてのアセスメントを実施してはどうか。 ・妹に現状を知ってもらい協力を依頼。 ・家の電話のみ活用する。 ・家の電話の着信音を音楽にすると抵抗がないのではないかと。 ・携帯電話を継続して活用するなら、どの様にすれば不要な電話をなくせるか。 <p><相談者の気持ち></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症があり、本人は訪問介護事業所に電話をかけている意識がない。本人に伝えても、その時は理解するだろうがすぐに忘れてしまうため、話しをしても解決は困難。 ・事業所に迷惑をかけられないので、なるべく早く解決したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話についての現状をアセスメントする。 ・アセスメント結果をもとに、本人、妹、訪問介護事業所で、話し合いの場を設ける。 ・話し合いの時は、本日出たアドバイスも参考に進めてみる。
2	<p>要介護 5・男性・81 歳。</p> <p>脳出血後左片麻痺、失語、嚥下障害有。訪問リハビリスタッフと家族とのリハビリへの思いの違いから、関係性が崩れてきている。そのため 2 年前のリハビリの際に傷つけた自宅壁のことを追求してくるようになった。</p>	〇〇 〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・傷つけた時には、家族とリハビリスタッフの関係性が良かったため、家族は何も言わなかった。スタッフは気付かずにいた。 ・CMから事業所へ、家族と今後の対応について考えてもらうよう申し入れた。 ・事業所からの返答に納得いかない家族。 <p>家族は、陰で自分たちの事を色々言われる事に非常に抵抗があるため、CMは状況確認をしつつも経過を見守る。口を出す事で、サービス事業所の味方をした、と言われてかねない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族は自分の思うように人の話を解釈する傾向にあり、それをメモに残していた。 ・CMが言った事で、更に事態が混乱する可能性もあるため、家族と事業所へ任せる。 ・介護保険課へ相談しておく事も必要ではないか。
3	<p>要介護 2・女性・78 歳。独居。</p> <p>認知症。ゴミの仕分けが出来なくなっている様子見受けられ、自宅内に小バエが多く発生する様になってきている。社会資源として何かないだろうか。</p>	〇〇 〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・支援してくれるヘルパー事業所から、自宅内で小バエが多くなってきているとの情報あり。ゴミの分別や、ゴミ出しの曜日が分からなくなっている様子。 ・〇〇市のふれあい訪問収集を検討。分別の必要はあるので、そこから出来なくなっているようであれば、分別や出す際のヘルパー支援が必要ではないか？ ・ふれあい訪問収集依頼の際は、市役所担当者が面談に来て色々聴き取りするため、認知症の人は混乱する事がある。面接の際はCMが同席した方が良いかもしれない。 	<p>自分では出来ると思っている事、導入時の混乱が予測される。通所の送り出しのヘルパーに分別から任せては時間が足りないので、前日の夕方のヘルパーに分別してもらっておく。</p>
6	<p>利用者家族からの苦情。</p> <p>新規で夫婦ともに契約締結。ヘルパー訪問初日に、別居の子が「契約書の内容を変えないと契約しない」と言ってきた。契約書の内容説明を再度行ったが、納得されなかった。</p> <p>利用者夫婦はサービス希望しており、サービスの必要性もある。しかし、契約書の内容を変えないとサービスが提供できない状況となった。</p> <p>事業所としてどう対応するのか。</p>	〇〇 〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書を変えないとサービスがスタートできない。利用者に不利益が生じるのではないかと。 ・一利用者のために変更する必要があるのか。 ・変更した場合、現利用者とも契約書の取り直しをしなければならぬのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括主任CMに相談。 ・法人の理事長に経緯報告。 ⇒契約書は変えない(契約書としては問題ない)。 ・分かりにくいところは個別に書面等で細く説明をする。 ・了解を得られないときは、家族が納得できる別の事業所と契約してもらい、サービスを開始してもらう。
7	<p>事務所内の連絡事項</p> <p>(1) 〇〇市熱中症予防事業対象者確認、報告書について</p> <p>(2) 研修の報告:〇月△日開催の「障害者総合支援法」について</p> <p>(3) 今後の研修予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇/△ 高次脳機能障害 ・〇/△ 在宅生活におけるリハビリテーションとは 	〇〇 〇〇		<p>研修は希望を募り、分けて行き、報告にて共有する。</p>